

2025 年 12 月 19 日

各 位

株式会社 北海道銀行

北海道ポラコン株式会社と 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、SDGs への取り組みの一環として、北海道ポラコン株式会社（代表取締役 中島 康成）と、ほくほくサステナブルファイナンス「ポジティブ・インパクト・ファイナンス型」※の契約を締結しましたので、お知らせいたします。

※企業活動が経済・社会・環境にもたらす影響を包括的に分析し、特定されたポジティブ・インパクトの拡大とネガティブ・インパクトの緩和に向けた取り組みを継続的に支援する融資。

記

1. 契約企業の概要

企業名	北海道ポラコン株式会社		
所在地	北海道札幌市中央区南 4 条西 6 丁目 8 番地 晴ばれビル 7 階	設 立	1973（昭和 48）年 6 月
資本金	3,000 万円	売上高	590 百万円 （2024 年 12 月期）
企業概要	・ 当社は、雨水流出抑制や環境保全などを通じて、地域や暮らしの安心・安全を支えることを事業の核とする企業です。 ・ 透水性の機能を持つポーラスコンクリート製品の企画製造を中心に、現地での試験や調査といった専門的業務のほか、コンクリート製品の洗浄サービス、外構工事を含む一般土木工事等の事業展開を図っております。 ・ 近年はインドネシアやモンゴルにもそのノウハウを積極的に展開しています。		

2. 本ファイナンスの概要

実行日	2025 年 12 月 19 日（金）
資金使途	事業資金

3. 北海道ポラコン株式会社の取り組み（一例です。詳細は「評価書」をご参照ください） ～環境配慮に向けた取組み～

インパクトの種類	N I（ネガティブ・インパクト）の低減		
インパクト・カテゴリ	N I：〈気候の安定性〉、〈大気〉、〈資源強度〉、〈廃棄物〉		
影響を与える SDGs の目標			
内容・対応方針	・ 環境配慮に向けた各種施策の実行		

毎年モニタリング する目標とKPI	【目標】		
	・ 自社事業における環境配慮に向けた取組みの促進		
	【KPI】		
	・ 2029 年度末までに DX 化推進により紙の使用量を 2024 年度対比 70% 削減		
	・ 大気汚染対策への取組み		
取組項目		実績（2024 年度）	目標（2029 年度）
一般車両の低公害車の導入		8 台	14 台
ハイブリット重機の導入		0 台	7 台
二酸化炭素排出量の削減		1,300t	900t
※設定した KPI のうち目標年度前に達したものは、目標の再設定等を検討する。			

4. その他

インパクト評価	本ローンは、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が公表しているポジティブ・インパクト・ファイナンス原則に則り、株式会社道銀地域総合研究所が北海道ポラコン株式会社の包括的なインパクト分析を行い、評価しました。また、株式会社日本格付研究所（J C R）から第三者意見（外部レビュー）を取得し、金融原則への適合性の確認と評価の透明性を確保しています。
モニタリング	当行は、インパクト評価で特定した北海道ポラコン株式会社の K P I について、モニタリングを行います。

5. 該当する SDGs の目標



SDGs は Sustainable Development Goals の略称で、2015 年に国連で採択された 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
 ほくほくフィナンシャルグループは、2019 年 4 月に「SDGs 宣言」を表明しました。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道銀行 広報 C S R 室 坂野 TEL 011-233-1005